

国会前を歩く

東京で講演する機会があり、せっかくなので早めに行って、国会周辺を歩いた。首相官邸から国会正門に向かった。官邸付近は警察の警備が厳しく、なんだか緊張した雰囲気だったが、国会正門あたりは閑散としていた。道端でかがみ、ぎんなんを集める女性の姿が印象に残った。

先日、NHKの「ドキュメント 72 時間」という番組で国会前を取りあげていた。番組タイトルは「夏の終わり 国会前の路上で」、サイトで検索すると次のように紹介されていた。

「緑豊かな通りでの犬の散歩やランニングを楽しむ住民。安保関連法案や原発をめぐるデモ



に参加し思いを表明する人々。法案の審議が進められていた9月、国会周辺に早朝から深夜まで三日三晩密着。一体、何が見えてくるのか。」

この番組を見たこともあるが、やはり夏から秋にかけての大規模なデモの雰囲気を味わいたく、国会周辺を歩いた。「安保法案反対 国会前で」の写真は、中日新聞8月31日朝刊1面掲載のものだ。12万人が国会を包囲したと話題になった。

この写真を再びじっくり見ると、国会正門前がぎっしりと人で埋まっているのがよく分かる。国会をとり巻くように、参加者が広がっていたことだろう。実際に歩いてみて、当時の雰囲気と熱気を少しだけ感じることができた。

国会正門から憲政会館、そして国会図書館の方へと歩いた。国会図書館は大学院の頃によく利用した。朝から順番待ちをして、本を閲覧しコピーしたものだ。若き日の頃を思い出しながら、永田町から地下鉄に乗り、会場に向かった。



(2015年10月21日)